

Rotary club

YACHIYO 週 報

第2552回
2020年1月31日



八千代ロータリークラブ
CLUB NO.15070

The Four-Way Test 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2019-20年度 国際ロータリーテーマ
ROTARY CONNECTS THE WORLD
「ロータリーは世界をつなぐ」

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」
2019-20年度 クラブテーマ
「広めようロータリーの心 つなげよう地域との絆」

今回例会行事

テーマ：始まりがあれば終わりがある
卓話者：橋本 幹雄会員
担当：職業分類委員会

2月9日 2553回 例会行事

地区大会
アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張
担当：会長・幹事



2551回例会

2020/1/24

司会 中村 賢治

「我らの生業」 「富士山」 聲唱

お客様

2790地区第12グループ ガバナー補佐 猪飼 清文様

～会長挨拶～



会長 杉山 智基

皆様こんにちは。

本日は国際ロータリー第2790地区第12グループ ガバナー補佐の猪飼清文様が例会にお越し下さいました。お忙しいところ、ありがとうございます。ご来訪、心より歓迎申し上げます。

今週の月曜日（20日）が暦の上では大寒でしたが、今年は記録的な暖冬でそんなに寒くなく、スキー場には雪が降らない所もあり、営業が出来ずに大変なところもあるようです。今年の夏は水不足になるのではと心配になります。皆様はいかがでしょうか？

中国の武漢では、新型肺炎により571人（23日午前零時現在）の発症者数を数え、死者が17名にのぼったと新聞に書かれていました。日本人の方も武漢市の医療機関に重症で入院している方もいるようです。

今日から春節（旧正月）に入り、中国では大型連休のようです。およそ30億人が大移動する連休で、新型肺炎の流行に拍車をかけるのではないか？と心配されているようです。手洗いやマスクの着用を心掛けて予防しましょう。

1月22日に第12グループの会長幹事会が開催され、猪飼ガバナー補佐より台風15号による災害に対する義捐金について報告がありました。直近の数字で義捐金は約5,600万円（内他地区より約5,000万円、地区内より約600万円）であるとの事。第1回目として館山、鋸南地域に2,200万円の義援金を送金済みで、第2回目も近日中に送金されるとの事です。被災地の一日も早い復旧を願います。

先週の例会（臨時総会）において、八千代ロータリークラブ細則が改正されました。出席に対して他クラブよりも厳しい細則になるかもしれません、皆様のご

理解を宜しくお願いします。

また、来週の28日火曜日、29日水曜日に「夢の教室」事業が開催されます。地区補助金を頂いている青少年関係の事業です。子供たちの様子をぜひ多くの会員の皆様にもご覧いただければと思います。参加いただける方は、暖かい服装でご参加ください。宜しくお願いします。

最後に昨日、サラリーマン川柳コンクールの応募作品が大手保険会社から発表されましたが、私が特によかったですと思うものは、「おじさんは スマホ使えず キヤッッシュです（リタイヤ組）」が良いと思いますが皆さんはいかがでしょうか？

～幹事報告～



幹事 中島 貞好

○年会費（下期分）の納入をお願い致します。

○これからのお予定

- ・2/9(日) 地区大会 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 受付8:30～ 点鐘9:30
- ・3/13(金) I M ウイシュトンホテルユーカリ
- ・4/15(水) 12グループ親睦ゴルフ 中山カントリークラブ

○他クラブ 2月例会日変更のお知らせ

習志野RC 5日通常例会 12日→9日地区大会に振替 19・26日通常例会

習志野中央RC 6日→9日地区大会に振替 13・20日通常例会 27日休会

八千代中央RC 7日→地区大会に振替 11日休会 18・25日通常例会

佐倉RC 6日→9日地区大会に振替 13・20日通常例会 27日夜間例会

佐倉中央RC 5日通常例会 12日→9日地区大会に振替 19・26日 移動例会

四街道RC 4日振替休会 9日地区大会 11日→12日に振替 18日通常例会 25日夜間例会

～お客様ご挨拶～



2790地区第12グループ ガバナー補佐 猪飼 清文様

2/9の地区大会へのご参加、よろしくお願ひ致します。

また3/13にはIMが開催されます。前ガバナー補佐の飯生様に出席のお願いに参りました。13時開始予定となっておりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。基調講演は橋岡パストガバナーにお願いしており、漆原ガバナーエレクトにもご参加を依頼中ですが、非常に多忙な時期でございますので現在は回答待ちでございます。市原会長エレクトにご挨拶を頂きますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

～委員会報告～

プロジェクトY委員会 委員 中村 賢治
ユメセンについて回覧しますので参加可能な方はご記入下さい。

～お祝い～



本人誕生日： 鈴木 政次会員
遠藤 章雄会員
小高 栄二会員
結婚記念日： 中島 貞好会員

～例会行事～

職業奉仕委員会 委員長 杉 晟
本日は江頭会員に佐賀県の偉人たちのテーマでお話頂きます。よろしくお願ひ致します。

テーマ：佐賀の偉人たち



卓話者：江頭 泰利会員

佐賀には明治初期から沢山の偉人がいます。早稲田大学を創立した大隈重信、グリコを創った江崎利一、キャラメルの森永を創った森永太一郎、リコーを創業した市村 清、建築でいくつもの名作を残した辰野金吾。これらの人物をご紹介しながらお話します。

大隈重信

政治家。初名は八太郎。立憲改進党を創立し、総理となり自由民権運動の一翼を担った。伊藤内閣・松方内閣の外相となった後、板垣退助と共に憲政党を結成し、最初の政党内閣を組織する。早稲田大学創立者。早稲田大学総長。大正11年(1922)、84才で亡くなりました。

先日の日経新聞に京都大学名誉教授 伊藤之雄氏と佐賀県知事 山口祥義氏の対談が掲載されていました。

雄藩として明治維新をけん引した肥前=佐賀県。この地には今も「志」ある人間を熱くする何かがある。

早稲田大学の創設者で、明治・大正の激動の時代に2度首相を務めた大隈重信は、首相就任の前に佐賀に帰省し、志を新たにしたという。なぜ佐賀の風土は大隈をはじめとする挑戦者を育むのか、日本政治外交史が専門で2019年に大隈重信の伝記を出版した伊藤之雄・京都大学名誉教授と山口祥義・佐賀県知事が熱く語り合った。とあります。

教授は大隈は維新の功労者であり、伊藤博文や山県有朋らのライバルでした。下野した後に2度も首相を務め、二大政党制の礎をつくり、その影響は現代の政党政治に及びます。藩校の弘道館で学んでいた時、朱子学（幕府が奨励した儒教の学派）中心の教育を否定する運動に加わり退学になるなど強気な一面はありました。強い自負心を貫く姿勢は大隈が創設した早稲田大学の気風にゆるやかにつながっていると思います。

知事が、大隈は生涯に2度首相の座を射止めますが、2回ともその前に佐賀に帰省しています。最初の帰省時は東京から佐賀まで片道だけで5日間。大隈がわざわざ帰省した理由は何でしょうか。と尋ねると大隈が直感で「空気が自分に向いてきた」と判断したからでしょう。1度目は1896年（第1次政権発足2年前）。その直感を具体化するため、まず当時の日本の経済の中心地であった大阪に立ち寄り世相をつかみます。その上で、典型的な地方都市であった佐賀で自らの政策を訴え手応えを得ました。さらに地元の人々からのエールで勇気をもらう、演説のテクニックを磨くといった目的もあったと思います。汽車で遊説する新しいスタイルを試行し、2年後の総選挙では全国で展開して成功を収めました。と答えています。

江崎 利一

明治15年（1882年）12月23日 - 昭和55年（1980年）2月2日。日本の実業家。江崎グリコの創業者。現社長・江崎勝久とその弟の江崎正道の祖父。明治15（1882）年、佐賀県蓮池村（現在の佐賀市蓮池町）生まれ。小学校高等科卒業後、15歳で家業の菓子業を手伝うようになる。海外から大樽に入ったワインを仕入れ、それを瓶に詰め替えて安く売る商法で、九州でも屈指のワイン販売業者となる。やがて、カキに多く含まれる栄養素「グリコーゲン」での事業化を思いつき、干し牡蠣の製造工程で大量に捨てられていた煮汁に目をつける。

大正11（1922）年には栄養菓子事業の江崎商店（江崎グリコの前身）を創業。江崎が売り出した「グリコ」のキャラメルは、栄養価の高さをアピールした「一粒300メートル」のキャッチフレーズと、玩具のオマケ付きという斬新なアイデアで大成功を収めた。先行する森永製菓のキャラメルが黄色い箱だったため、追随する他社の製品もほとんどが黄色を基調としたパッケージだったが、後発のグリコは赤箱にして売り場で目立たせた。

近所に住んでいた恩師に「商売というものは、自分

のためにあるとともに、世の中のためにあるもの。商品を売る人は、物を売って利益を得るが、買う人もまたそれだけの値打ちのものを買って得をする。この共生共栄がなかったら本当の商売も成り立たないし、発展もない」

今でいうWin-Winの関係をつくらないといけないことを学んだのもここであります。海外から大樽に入ったワインを仕入れ、それを瓶に詰め替えて安く売る商法で、ワイン業を始めたのも、「栄養菓子グリコ」を考えたのもこの地でした。Glicoといえば、あの道頓堀グリコサインでお馴染みのゴール・インのポーズ。実はこのポーズが生まれた場所が佐賀にあることを皆さんご存知でしょうか？企業理念「おいしさと健康」を掲げるGlicoの創業者 江崎 利一が、生誕の地佐賀で創り出したものであり、熱い想いが隠されていたのです。当時、利一は「栄養菓子グリコ」のロゴマークについて悩んでいて、いつものようにこの神社に来て、石に腰を下ろしてたところ、お宮の馬場で大勢の子どもがかけっこをしているのを目にします。真っ先に立った子どもがゴールに入る際、胸を張り両手を上げて、英姿颯爽といったフォームをしていました。

「人は誰でも健康を望んでいる。健康を望む以上は、スポーツをやる。スポーツは永久に愛好される。この運動の姿を商標（ロゴマーク）に入れるべきではないだろうか」。近くの芙蓉小学校で象やペンギン、花などとアンケート調査を実施した結果、このゴール・インのポーズがトレードマークに決まりました。

森永 太一郎

（慶応元年6月17日（1865年8月8日） - 昭和12年（1937年）1月24日）は、日本の実業家。森永製菓創業者。佐賀県伊万里市出身。安倍晋三首相の妻・昭恵は外曾孫娘にあたる。

生家の森永商店は陶磁器の積み出し港として栄えた伊万里で一番の陶器問屋だった。

20歳で結婚し、翌年九谷焼を外国商館に販売していた横浜の陶器問屋道谷商店で数年を過ごしたが同店が倒産し、債権者への返済のために店の商品を海外で販売することを目論み、明治21（1888）年24歳の時に妻と長女を日本に残して渡米した。この当時、森永は身長180cm、体重70キロの巨漢だった。ここでも多くの人種差別の苦難に会いながらも様々な西洋菓子の製法を身に付け、5年が過ぎ、日本に西洋菓子を普及させる時期になったと判断した太一郎は計11年間の滞米を終えて帰国の決心をした。この時オークランドのブルーニング夫妻から「小売りをせず、卸だけやれば家賃の安い辺鄙な所でも済む。自分も二坪ばかりの小さな家で菓子を作り、そこで寝泊りをして始めた。」と助言を受け、明治32（1899）年6月下旬に横浜に到着した。帰国後1899年現在の森永製菓の前身となる森永西洋菓子製造所を東京・赤坂（旧溜池町、現在の赤坂1・2丁目付近）に設立した。「おいしく たのしく すこや

かに」のシンボル、エンゼルマークを商標登録。エンゼルマークは、太一郎が当時よく作っていたマシュマロが「エンゼルフード」と呼ばれることにヒントを得て考えられた。エンゼルマークは誕生以来7回変わつてきましたが、森永製菓のシンボルとして現在も使われている。

市村 清

(1900年4月4日 - 1968年12月16日) は、日本の実業家。リコーを中心とする「リコー三愛グループ」の創始者。

「人の行く裏に道あり花の山」を座右の銘とし、常識の裏をかくアイデア社長として一世を風靡した。

現在も銀座4丁目交差点に建つ、円柱・総ガラス張りの個性的な「三愛ドリームセンター」(1963年完成)は、元々は市村の「お客様を動かさず、建物を回して商品の方を動かしてはどうか」との発想に基づくものである。産業界・学界で功労者を顕彰する市村賞にその名を遺す。

佐賀県三養基郡北茂安村(現・みやき町)の農家市村豊吉の長男として生まれる。名門・佐賀中学校(現・佐賀県立佐賀西高等学校)に入学するも、経済的困窮により2年で中退を余儀なくされる。市村は富国微兵保険(現・富国生命保険)のセールスマンとして再出発し、赴任先の熊本で抜群の成績を上げる。1929年、縁あって理化学研究所(理研)が開発した陽画感光紙の九州総代理店の権利を譲り受け、たちまち業績拡大に成功、朝鮮・満州の総代理店の権利も獲得する。1933年、理研所長大河内正敏より理化学興業(株)感光紙部長に招聘される。1936年理研感光紙(株)専務取締役に就任。同社は2年後に「理研光学工業」に改称され、これが後のリコーとなる。

1945年終戦を迎えると、「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」の三愛主義をモットーに三愛商事(現・三愛)を設立、銀座4丁目角の土地を取得し食料品店を開業する。後に婦人服専門店に転業し現在に至る。銀座の土地は買収に難航したが、ある地権者の老婦人が大雪の中断りに出向いた時、彼女の濡れた足元を見た女性事務員が自分のスリッパを履かせ、抱きかかえるように3階まで案内したことに感激し、交渉がまとまったというエピソードは有名である。

1952年には三愛石油を設立、外資の攻勢をはねのけて、羽田空港の給油権獲得に成功する。本拠の理研光学においても、1950年に二眼レフカメラ「リコーフレックスIII」を発表、従来のカメラの1/4ほどの価格低下を実現し、大衆カメラブームを巻き起こした。この他、西銀座デパート、日本リース(リース会社の先駆け)など各社を次々と設立、1962年には経営不振に陥った名古屋の「高野精密工業」の社長となり再建に成功する(現在のリコーエレックス)。「経営の神様」としてマスコミの寵兒となり、五島昇、盛田昭夫ら若手経営者や大宅壮一、邱永漢、今東光、升田幸三等の文化

人が市村を取り巻いて教えを求める、世間はこれを「市村学校」と呼んだ。1965年、リコーは無配に転落し、世間からは一転してバッシングが浴びせられる事となる。市村はこれに耐え、組織の効率化と業績給導入を柱とする改革を陣頭指揮で推進、「電子リコー」の成功により2年後に復配を実現し、現在のOA機器メーカーとしての隆盛の基礎を築く。

辰野金吾

(1854年10月13日(嘉永7年8月22日) - 1919年3月25日) は、日本の建築家である。位階勲等は従三位勲三等。工学博士。

工部大学校(のちの帝国大学工科大学、現在の東京大学工学部)卒業。帝国大学工科大学学長、建築学会会長。設計の頑丈さから「辰野堅固」と呼ばれた。帝国大学総長渡辺洪基(渡辺洪基)の意向を受け、工学校(工学院大学)の創立を推進し、運営にも尽力した。大隈重信の要請を受け、早稲田大学建築学科創設(1912年(明治45年)創設顧問に就任)に尽力した。東大仏文科で小林秀雄、三好達治らを育てたフランス文学者・辰野隆は息子であり、薬学者の辰野高司は孫である。

主な作品には、日本銀行本店、大阪市中央公会堂、旧日本銀行小樽支店、東京駅丸の内駅舎、みずほ銀行京都中央支店、旧第一銀行神戸支店などがある。

独自な考え方をもって、世の中に対してどういう風に接したらいいのか、自分の利益だけではなく、皆に愛される会社を創ることに努力しました。成功ばかりでなく、失敗の中で藁をもつかむ思いで必死に仕事をして大きな企業を創ってきた事がわかります。これから、我々もひとつひとつ頑張って行きたいと思います。

※出典: Wikipedia・日経新聞

～会長謝辞～

素晴らしい佐賀県人のお話を頂きました。私も偉大な佐賀県人をひとり知っています。小学校の時の恩師で、今88歳でご健在です。素晴らしい先生だった事を思い出しました。本日はありがとうございました。



～ニコニコBOX～

遠藤 章雄：1月30日誕生日80才傘寿です。江頭会員、卓話楽しみです。

谷田貝 彰：あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひします。

風間 茂：江頭会員、卓話楽しみにしています。（葉隠武士道）

君塚 欣哉：江頭会員、卓話楽しみです。

～友愛BOX～

鈴木 政次：1月26日誕生日です。84才になりました。

小高 栄二：50才になりました。

中島 貞好：まだまだ仲良くしています。

杉山 智基：大寒となりましたが、暖かいです。新川千本桜祭りと八千代少年少女合唱団支援する会への協賛、宜しくお願ひします。

栗原 稔：孫がポルトガルの国際学会でポスター賞を受賞しました。

福田 良博：猪飼ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。

江頭 泰利：卓話頑張ります。

中島 貞好：江頭会員、卓話よろしくお願ひいたします。

福田 良博：江頭様、卓話楽しみにしています。

上代 修二：卓話楽しみにしています。

中村 賢治：江頭さん卓話楽しみにします。

寺沢 一三：江頭さん卓話よろしくお願ひします。

朝戸 健夫：江頭会員卓話よろしくお願ひします。

遠藤 章雄：江頭さん卓話がんばって下さい。

安宅 照男：江頭副幹事卓話宜しくお願ひします。

池田 建：江頭会員卓話よろしくお願ひします。

大中 宏道：江頭さん、卓話がんばって下さい。楽しみにしています。

浅野 正敏：江頭さんがんばって下さい。

杉 晟：江頭さん、卓話楽しみにしています。

佐野 忠信：江頭さん、卓話楽しみです。

永田 勝久：江頭会員卓話楽しみです。

鈴木 利雄：江頭会員卓話楽しみです。

日下部良夫：江頭会員卓話宜しくお願ひします。

飯田 明彦：江頭会員頑張って下さい。

櫻井 豊：卓話楽しみにしています。

宮野 宗雄：江頭会員卓話楽しみにしています。

市原 正男：江頭さん、がんばって!!

稻山 雅治：江頭さん、卓話楽しみにしております。

青木 淳：江頭さん卓話楽しみにしています。

山浦 恒宏：江頭会員、卓話宜しくお願ひします。

葉山 哲夫：遅刻、今日は旧暦大晦日。

飯生高一郎：本日早退いたします。

ニコニコ合計 ¥8,000 友愛合計 ¥54,000



近隣クラブ例会日

例会場

火曜日 四街道R.C	(四街道ゴルフクラブ)
火曜日 八千代中央R.C	(ウィッシュトンホテル・ユーカリ)
水曜日 習志野R.C	(習志野商工会議所会館)
水曜日 佐倉中央R.C	(ウィッシュトンホテル・ユーカリ)
木曜日 佐倉R.C	(フランス料理・シェ・ムラ)
木曜日 習志野中央R.C	(習志野商工会議所会館)

例会出席率

	会員総数	出席対象者	出席	%
1/24	53	52	47	90.38

■出席委員長 菊川 秀明

※欠席の際は、必ず火曜日までに出席委員長に連絡して下さい。

■例会日 金曜日 12:30～13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX: 047-450-0050)

富士山

作詞 巖谷小波 文部省唱歌

あたまを雲の 上に出し

四方の山を 見おろして

かみなりさまを 下に聞く

富士は 日本一の山

明治43年7月尋常小学読本唱歌に掲載されました。この曲は2年生後期用の読本に載っていました。

■クラブ会報委員会

委員長: 中島 仁 副委員長: 永田 勝久

TEL: 047-459-5806